

## 学習フィードバックシート

プロジェクト名：ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」を  
ハードウェアから開発する - グループ名： Group2

担当教員名： 三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行 学籍番号 b1017211 氏名 奥村輝

### 1. 自己評価

評価項目	自己評価 (点数/満点)	評価基準
出席	10 /10	無断欠席回数： ・ 0回(10点) ・ 1回(5点) ・ 2回(0点)
週報	9 /10	標準点：7点 ・ すべて提出したか？ 不備はないか？ ・ 提出期限は守られているか？ ・ 報告事項の内容は十分か？
グループ報告書	7 /10	標準点：7点 ・ 誤字、脱字はないか？ 様式、体裁は整っているか？ ・ 十分な記述量があるか？ ・ 内容に矛盾がなく、再現性や合理性があるか？ ・ 客観的な記述がされているか？
発表会	6 /10	標準点：7点 ・ ポスターはわかりやすいか？ ・ 聴講者に理解してもらえたか？ ・ 説明方法は適切であったか？
外部評価	7 /10	標準点：7点 ・ 発表会やアンケートを通じた外部からの意見の評価 ・ 検討を十分行ったか？ ・ 外部意見を課題解決策に反映することができたか？ ・ 自分勝手な課題解決策になっていないか？
積極性・協調性	6 /10	標準点：7点 ・ 自ら積極的に課題を設定したか？ ・ 自ら積極的に課題の解決策を考案したか？ ・ 自ら積極的に課題を解決したか？ ・ 課題設定・解決のために議論を十分行ったか？ ・ メンバーとお互いに協力し合ったか？
計画性	12 /20	標準14点 ・ 適切な作業計画を立てることができたか？ ・ 適切な作業分担を行えたか？ ・ 計画通りに作業を進めることができたか？ ・ 必要に応じて柔軟に計画を修正できたか？
成果	12 /20	標準14点 ・ プロジェクト遂行に必要な知識・技術を獲得できたか ・ プロジェクトへの貢献は十分であったか ・ 自分たちが納得できる成果が得られたか？
合計点	69 /100	

(注)週報の不備を、システム情報科学実習のホームページ→週報の提出確認のページから確認すること。

## 2.理由

出席は、欠席することなくできていた。週報は、すべて期限を守り提出していたが、内容が抽象的であることがあった。グループ報告書は、まだ完成していない。発表会は、ポスター、プレゼン資料の文字が多く、情報量が多く見づらいものになってしまった。また、質疑応答の時間を十分に取ることができなかった。外部評価は、評価を素直に受け入れ、どう解決するか考えることができた。積極性・協調性は、自分に対し課題を設定することができていなかった。計画性は、グループごとの計画は立てることができていたが、個人個人の作業をしっかりと分担できていなかった。成果は、必要な知識・技術がまだ身に付けることができていない部分が多いと感じた。また、中間発表を終えたにもかかわらず、あまり成果が得ることができていないと感じた。

## 3. 共同作業者によるコメント

山本侑吾：

話し合いに積極的に参加してくれてとても話しやすかった。制作と一緒に取り組んでもらえて助かりました。このまま後期も頑張りましょう。

サイン \_\_\_\_\_ 山本侑吾

須田恭平：

スライド作成やグループの話し合いに積極的に参加してくれて話し合いをしやすいかった。今後も一緒に学習しつつロボット制作頑張りましょう。

サイン \_\_\_\_\_ 須田恭平

對馬武郎：

プレゼン資料等積極的に進めてくれてとても助かりました。

サイン \_\_\_\_\_ 對馬武郎

## 3. 担当教員によるコメント

教員サイン \_\_\_\_\_ 三上貞芳

教員サイン \_\_\_\_\_ 鈴木昭二

教員サイン \_\_\_\_\_ 高橋信行

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	奥村輝
学籍番号	1017211
クラス	H
現時点における学習目標は何ですか。(複数回答可) プロジェクト学習を通じて習得したい事柄を選んでください。	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 発表(含むポスターの作成)方法; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。(自由記述 200 文字以上)	去年のプロジェクトの資料を通して、どのように進めていくべきか、報告書や発表スライド、ポスターはどのように書いているかを学習する。作業は一人一人に同等の量を分担して行う。一人に任せてばかりにしない。自ら積極的に会議で発言し、コミュニケーション

	<p>を行う。また、わからないことがあれば、学生同士でも教員でも話し合う。協力して問題を解決すれば、作業が楽しくできるし、効率よく行うことができると思う。自分ができていないところを他人に評価してもらい、それについて解決しようと努力する。</p>
グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる	まあまあできる
活動を成功させるために必要な努力をする自信がある	あまりできない
証拠に基づいて意見を述べることができる	あまりできない
自分で行った結果に対して責任を持つことができる	まあまあできる
収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	まあまあできる
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	まあまあできる
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	あまりできない
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	まあまあできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	まあまあできる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	まあまあできる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	あまりできない
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる

守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するために、正確かつ創造的に ICT を利用できる	できる
他人に関心を寄せ、他人を尊重することができる	できる
グループが目指す成果に到達するために優先順位をつけ、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って話したり、書いたりできる	まあまあできる
社会で一般に容認・推進されている行動規範にしたがって行動できる	できる
他者を信頼し、共感することができる	まあまあできる
活動を粘り強く行うために必要な集中力がある	あまりできない
情報を批判的かつ入念に検討し、評価できる	まあまあできる

所属プロジェクト	ロボット型ユーザインタラクションの実用化 - 「未来大発の店員ロボット」をハードウェアから開発する -
担当教員名	三上貞芳、鈴木昭二、高橋信行
氏名	奥村輝
学籍番号	1017211
クラス	H
配属時における学習目標は何でしたか。（複数回答可）	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 発表（含むポスターの作成）方法; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	
上記の目標達成のために、どのようなことを行いましたか。（自由記述 200 文字以上）	去年までのプロジェクト資料を見ることや教授に質問することで、どのようにプロジェクトを進めていくべきかを理解しました。必要な知識を得るために動画を見たり、ネットで検索したりしました。発表方法については、どうすればわかりやすいスライド、ポスターをつくることのできるかを考えながら作りました。また、発表のフィードバックから改良案を見出し、今後に生かそうと考えています。コミュニケーションの面では、会議の際、思ったことや気になることがあれば積極的に発言しました。作業の面では、自分の担当を決め、定期的に進捗を共有し、アドバイスをもらい、どうすべきか相談していました。
前期の活動を終えて、学習目標は変化しましたか？ 現時点（7月末）における学習目標を選択してください。（複数回答可）	プロジェクトの進め方; 複数のメンバーで行う共同作業; 発表（含むポスターの作成）方法; 報告書作成方法; 学生同士でのコミュニケーション; 教員とのコミュニケーション; 技術・知識の習得方法; 技術・知識の応用方法; 作業を楽しく行う方法; 作業を効率よく行う方法; 課題の設定方法; 課題の解決方法
上の質問で「その他」を選んだ人は具体的に記述してください。	

<p>(9 の質問で学習目標が変化した学生)</p> <p>学習目標が変わった理由は何ですか？ (200 文字以上)</p>	
<p>後期、学習目標の達成のために、どのようなことを行う必要があると考えますか。 (200 文字以上)</p>	<p>私は、一つ目に会議においてもっと積極的に発言する必要があると思いました。解決策が思うように浮かばず、会議が進まないということがあったりしたので、そこで思いついたことを言って会議を円滑に進めたいと思いました。二つ目に、課題を設定することを重視したいと思いました。前期でも達成したい学習目標に入れていましたが、実際に課題を設定することができておらず、自分をあまり成長させることができませんでした。三つ目に学生同士のコミュニケーションの面で、他の学生と仲良くなる必要があると思いました。オンラインでの実施ということもあり、なかなか交流を深めることができなかったのもので、後期はプロジェクト以外の時間でも他のメンバーと交流を深めたいと思います。</p>
<p>前期の活動を振り返って、活動全体の印象や感想を書いてください。 (自由記述 200 文字以上)</p>	<p>今年度はオンライン授業と前期開始日が遅れたせいで中間発表まで時間があまりありませんでした。活動全体としては上手く進めていたと思います。しかし、グループごとの進捗が思うように出ませんでした。ロボットを 0 から作るという誰も経験したことないことで、どういう風に進めていけばいいのか全く分からなかったからだと思います。後期はこの遅れを取り返して、本来の目標であるプロジェクトメンバー全員で一つのロボットを作ることを成し遂げたいと思います。</p>
<p>グループメンバーと協働することにより、課題を見出し、解決できる</p>	<p>まあまあできる</p>
<p>活動を成功させるために必要な努力をする自信がある</p>	<p>あまりできない</p>
<p>証拠に基づいて意見を述べるができる</p>	<p>まあまあできる</p>
<p>自分で行った結果に対して責任を持つことができる</p>	<p>まあまあできる</p>

収集した情報を体系的に整理し、活用することができる	あまりできない
さまざまなコミュニケーションの場面において、他者の話を注意深く、忍耐強く、誠実に聞き、正しく理解できる	できる
活動の中で壁に直面したり、競争のプレッシャーがあっても、目標の達成に向けてやり抜くことができる	あまりできない
読み手や目的に合わせて、正確にわかりやすい文章を書くことができる	あまりできない
自分とは異なる意見が提示された際、冷静に分析し、自分の考え方を再考したり修正したりできる	まあまあできる
情報を調査・整理・評価・伝達・共有する手段として ICT を利用できる	まあまあできる
グループのメンバーの状況を理解し、支援する	できる
どのような状況においても意欲的に活動に取り組むことができる	あまりできない
さまざまな情報源から必要な情報を効率的に探すことができる	まあまあできる
プライバシーや文化の差異に配慮して、責任をもって注意深くインターネット環境を利用できる	できる
守秘業務、プライバシー、知的所有権に配慮しながら、身近な問題を解決するため	まあまあできる



に、正確かつ創造的に ICT を利用できる	
他人に関心を寄せ、他人を 尊重することができる	まあまあできる
グループが目指す成果に到 達するために優先順位をつ け、計画を立て、運営できる	まあまあできる
正しい文法・語彙を使って 話したり、書いたりできる	あまりできない
社会で一般に容認・推進さ れている行動規範にしたが って行動できる	できる
他者を信頼し、共感するこ とができる	できる
活動を粘り強く行うために 必要な集中力がある	あまりできない
情報を批判的かつ入念に 検討し、評価できる	まあまあできる
あなたは前期のプロジェクト 学習に意欲的に取り組みま したか？	まあまあ意欲的だった
前期の活動を行ったことに より、あなたはプロジェクト 学習の内容に興味を持てる ようになりましたか？	興味を持てた
前期のプロジェクト学習の 活動は、あなたの今後に役 立つと思いますか？	まあまあ役に立つ
今後、同じようプロジェクトを 行うことになったら、もっとう まくやれる自信があります か？	まあまあ自信がある
前期のプロジェクト学習の 活動に満足していますか？	どちらともいえない
オンラインでの発表に関し て、問題点の指摘や改善方	評価プロジェクトの移動時間が欲しかった。動画視聴時 間で見たいプロジェクトの動画をすべて見ることができ

法の提案などがあれば記してください。	なかったため、中間発表サイトの閲覧可能な時間を何日か取ってほしかった。また、動画とは別に発表で何を行うべきかが具体的に知りたかった。
--------------------	--